令和６年度用小学校音楽

──────────────────────　第４学年　年間学習指導計画作成資料（2024. 3. 8)　─────────────────────

株式会社 教育芸術社

【本資料について】

・本資料は、弊社発行の令和６年度用小学校音楽教科書「小学生の音楽１〜６〈104〜604〉」に基づいて作成しています。

【「題材の目標」について】

・各学年の題材の目標は、学習指導要領（平成29年告示）に示されている、育成を目指す資質・能力の三つの柱、

　（１）「知識及び技能」の習得に関する目標

　（２）「思考力、判断力、表現力等」の育成に関する目標

　（３）「学びに向かう力、人間性等」の涵養に関する目標

　の視点に基づいて作成しています。

　（１）について、文章の前半では表現及び鑑賞の知識に対応する内容を、後半では表現の技能に対応する内容を示しています。

【「扱い月の目安」について】

・本資料で示されている扱い月は目安となります。３学期制と２学期制それぞれ示しておりますので、各校の実態に応じて、指導される学期や月を調整のうえ、ご活用ください。

【「扱い時数」について】

・教育課程で標準とされる授業時数に即し、各題材や「みんなで楽しく」などの巻頭・巻末教材も含めたかたちで、扱い時数を設定しています（中学年は巻頭・巻末教材を除く）。

・巻末教材に配当された時数については、巻末教材を本文中の題材と関連付けて取り上げる場合や、授業時数に調整の必要が生じた場合などにおいて、扱い時数を調整するためにご活用ください。

・国歌「君が代」につきましては、『国歌「君が代」は、いずれの学年においても歌えるよう指導すること。』と示された学習指導要領の趣旨にしたがい、各校の実態に応じて学習内容や扱い時数をご設定ください。

【「学習指導要領の内容との関連」について】

・弊社発行の「小学生の音楽」教科書の題材構成において、各題材は、「何を中心に学習し、どのような子供の資質・能力を育てるのか（＝どのような観点で評価するのか）」という目標にそって教材を配列しています。

・「Ａ表現」⑴歌唱、⑵器楽、⑶音楽づくりのア、イ、ウの各事項、「Ｂ鑑賞」のア、イの指導事項は、 各題材内の中で〔共通事項〕を要として教材どうしがつながり、ときに往還し関連しながら、指導できるように配慮しています。

・学期ごとや１年間を通して、各観点がバランスよく位置付けられ、題材間の関連が図られているか、という視点にも配慮しています。

・それらを踏まえ、【評価に関わる】指導事項を◎で記し、それ以外の【学習を進めるうえで関わる】指導事項を○で記しています。

・〔共通事項〕に示している音楽を形づくっている要素において**太字**で記しているものは、題材内で中心となる要素を示しています。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 第４学年　年間学習指導計画作成資料 | | | | | | | | 学習指導要領の内容との関連（ア：思考力、判断力、表現力等　イ：知識　ウ：技能　に関する資質・能力） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【第３学年及び第４学年 目標】  (1)曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。  (2)音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。  (3)進んで音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。 | | | | | | | | Ａ表現 | | | | | | | | | | | | | | | | | Ｂ鑑賞 | | 〔共通事項〕 | |
| 扱い月  の  目安 | | 扱い時数 | 題材名 | | 題材の目標  (1)「知識及び技能」の習得  (2)「思考力、判断力、表現力等」の育成  (3)「学びに向かう力、人間性等」の涵養 | 学習目標 | 教材名  ○…歌唱　◇…器楽　☆…音楽づくり　**♪**…鑑賞　(共)…共通教材 | 歌唱 | | | | | 器楽 | | | | | | 音楽づくり | | | | | | 鑑賞 | |
| 合計60 | ア | イ | ウ | | | ア | イ | | ウ | | | ア | | イ | | ウ | | ア | イ | ア 音楽を形づくっている要素 | イ 音符、休符、  記号や用語 |
| (ア) | (イ) | (ウ) | (ア) | (イ) | (ア) | (イ) | (ウ) | (ア) | (イ) | (ア) | (イ) | (ア) | (イ) |
| 年間 | | − | 巻頭 | |  |  | 気持ちを歌でとどけましょう |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ４ | ４ | ４ | 1.  音楽で心の輪を広げよう | | (1)曲想と旋律などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能や、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。  (2)旋律、フレーズなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。  (3)声を合わせて歌ったり、歌詞の様子を思い浮かべながら歌ったりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。 | ・友達と声を合わせて歌いましょう。 | ○小さな世界 | ○ | ○ |  |  | ◎ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | リズム  **旋律**  音の重なり  フレーズ |  |
|  |  | (そだてよう)リズムでなかよくなろう① |  |  |  |  |  |  | ○ |  |  |  | ○ |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  | ・歌詞の表す様子を思いうかべながら、  言葉のまとまりを大切にして歌いましょう。 | (共)さくら さくら | ◎ | ◎ | ○ | ◎ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ５ | ５ | ７ | 2.  歌声のひびきを  感じ取ろう | | (1)曲想及びその変化と、音色や旋律などの音楽の構造との関わりについて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、歌唱の技能や、音色や響きに気を付けて、リコーダーを演奏する技能を身に付ける。  (2)音色、旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。  (3)歌声に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、鑑賞の学習活動に取り組み、様々な歌声の響きに親しむ。 | ・音の高さに気をつけながら、  明るい声で歌いましょう。 | ○◇いいこと ありそう | ○ | ○ | ◎ |  |  |  |  | ○ | ○ | ○ | ○ |  |  |  |  |  |  |  |  | **音色**  **旋律**  音の重なり  音階  調  拍  フレーズ  呼びかけと  こたえ | 付点８分音符  16分音符  ８分の６拍子 |
|  |  | ・リコーダーと歌声のひびきを合わせましょう。 | ○◇風のメロディー | ◎ | ◎ |  | ○ | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | ○ | ○ | ◎ |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  | ・２人の歌声による音楽のおもしろさを  感じ取りましょう。 | **♪**パパゲーノとパパゲーナの二重唱 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ◎ | ◎ |
|  |  | ・歌詞の表す様子を思いうかべながら、  のびやかな声で歌いましょう。 | (共)まきばの朝 | ○ | ○ | ○ | ◎ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ６ | ６ | ８ | 3.  いろいろなリズムを  感じ取ろう | | (1)曲想とリズムや拍などの音楽の構造との関わり、言葉のリズムのつなげ方や重ね方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの音や伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能や、反復や変化、呼びかけとこたえを用いてリズムアンサンブルをつくる技能を身に付ける。  (2)リズム、音の重なり、拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについてや、音を音楽へと構成することを通して、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。  (3)拍子やリズムが生み出すよさや面白さに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、音楽づくりの学習活動に取り組み、様々な音楽にみられるいろいろなリズムに親しむ。 | ・手拍子のリズムアンサンブルを  楽しみましょう。 | ◇クラッピング ファンタジー 第７番  　楽しいマーチ |  |  |  |  |  | ◎ | ◎ | ○ |  | ○ | ◎ |  |  |  |  |  |  |  |  | 音色  **リズム**  強弱  音の重なり  **拍**  反復  呼びかけと  こたえ  変化 | フォルテ  メッゾ フォルテ  くり返し記号 |
|  |  | (そだてよう)リズムでなかよくなろう② |  |  |  |  |  |  |  | ○ |  | ○ | ○ |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  | ・リズムばんそうのおもしろさに注目して  えんそうしたり歌ったりしましょう。 | ◇○いろんな木の実 |  |  |  |  | ○ | ◎ | ◎ | ○ |  | ○ | ◎ |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  | **♪**ピーナッツ ベンダー（参考曲） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ○ | ○ |
| ７ | ７ | ・くり返しや変化を使って、  リズムアンサンブルをつくりましょう。 | ☆言葉でリズムアンサンブル |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ◎ |  | ◎ |  | ◎ |  |  |
|  |  | ３ | 4.  ちいきにつたわる音楽に  親しもう | | (1)曲想及びその変化と、音色や旋律などの音楽の構造との関わりについて気付く。  (2)日本の民謡の歌声や楽器の音色、旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴く。  (3)日本の民謡や地域に伝わる音楽に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組み、日本の民謡や地域に伝わる音楽の特徴やよさに親しむ。 | ・ちいきにつたわる音楽をききましょう。 | **♪**こきりこ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ◎ | ◎ | **音色**  **旋律** |  |
|  |  | (チャレンジ)  ちいきにつたわるおどりやまいの  音楽を調べよう |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ○ | ○ |
| ９ | ９ | ８ | 5.  せんりつのとくちょうを感じ取ろう | | (1)曲想及びその変化と、旋律などの音楽の構造との関わりについて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能や、音色や響きに気を付けて、リコーダーを演奏する技能を身に付ける。  (2)音色、旋律、強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。  (3)旋律の特徴に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、鑑賞の学習活動に取り組み、様々な音楽にみられる旋律の特徴に親しむ。 | ・せんりつのとくちょうを生かして歌いましょう。 | ○ゆかいに歩けば | ○ | ◎ | ○ | ◎ | ○ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 音色  **旋律**  強弱  呼びかけと  こたえ | スタッカート  ピアノ  メッゾ ピアノ |
|  |  | ・せんりつのとくちょうに合ったふき方で  えんそうしましょう。 | ◇陽気な船長 |  |  |  |  |  | ◎ | ○ | ○ | ○ | ◎ | ◎ |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  | ・せんりつのとくちょうを感じ取りながら  ききましょう。 | **♪**白 鳥 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ◎ | ◎ |
| **♪**堂々たるライオンの行進（参考曲） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ○ | ○ |
|  |  | ・せんりつのとくちょうを生かして歌いましょう。 | (共)とんび | ◎ | ○ | ○ | ◎ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 10 | 10 | ９ | 6.  せんりつの重なりを  感じ取ろう | | (1)曲想及びその変化と、旋律や音の重なりなどの音楽の構造との関わりについて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や楽器の音、副次的な旋律、伴奏を聴いて、声や音を合わせて表現する技能を身に付ける。  (2)旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。  (3)旋律の重なりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、鑑賞の学習活動に取り組み、様々な音楽にみられる旋律の重なりに親しむ。 | ・せんりつが重なり合うおもしろさを  感じ取りましょう。 | ○パレード ホッホー | ○ | ◎ |  | ○ | ◎ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 音色  **旋律**  **音の重なり**  フレーズ  反復  音楽の縦と横との関係 |  |
|  |  | **♪**ファランドール |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ◎ | ◎ |
|  |  | ・せんりつが重なり合う美しさを感じ取って  えんそうしましょう。 | ◇サミングにちょうせん！ |  |  |  |  |  |  |  | ○ |  | ○ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ◇オーラ リー |  |  |  |  |  | ◎ | ○ | ◎ | ○ | ◎ | ◎ |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 11 | 11 | ・声が重なり合う美しさを感じ取って  歌いましょう。 | (共)もみじ | ◎ | ◎ |  | ○ | ◎ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  | ８ | 7.  いろいろな音のひびきを楽しもう | | (1)曲想及びその変化と、音色などの音楽の構造との関わり、いろいろな音の響きやそれらの組合せの特徴や、音やフレーズのつなげ方や重ね方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能や、互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能、音楽づくりの技能を身に付ける。  (2)音色、旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得たり、音を音楽へと構成することを通して、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。  (3)楽器の材質や音の出る仕組みに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽や音楽づくり、鑑賞の学習活動に取り組み、様々な音楽にみられるいろいろな音の響きに親しむ。 | ・音のとくちょうに注目して、音楽をつくろう。 | ☆打楽器の音楽 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |  |  | **音色**  旋律  強弱  音の重なり  拍  音楽の縦と横との関係 | シャープ |
|  |  | ・フルートの音色を味わってききましょう。 | **♪**ポロネーズ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ◎ | ◎ |
| **♪**茶色の小びん（参考曲） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ○ | ○ |
| 12 | 12 | ・ゆたかなひびきを味わいながら  えんそうしましょう。 | ◇茶色の小びん |  |  |  |  |  | ◎ | ◎ | ○ | ○ | ◎ | ◎ |  |  |  |  |  |  |  |  |
| １ | １ | ５ | 8.  日本の音楽でつながろう | | (1)曲想及びその変化と、旋律などの音楽の構造との関わり、日本の音階や旋律のつなげ方や重ね方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、反復などの音楽の仕組みを用いて、旋律をつくる技能を身に付ける。  (2)音色、旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。  (3)日本の音楽に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に音楽づくりや鑑賞の学習活動に取り組み、日本の楽器の音や音階に親しむ。 | ・ことの音色に親しみながらききましょう。 | **♪**独奏による主題と６つの変奏  「さくら」から |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ◎ | ◎ | 音色  **旋律**  音階  反復  変化 |  |
|  |  | (チャレンジ)  **♪**津軽じょんから節（参考曲）／  てぃんさぐぬ花（参考曲） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ○ | ○ |
|  |  | (チャレンジ)をひいてみよう |  |  |  |  |  |  |  | ○ |  | ○ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ２ | ２ | ・日本の音階のよさを感じ取りながら、  せんりつをつくりましょう。 | ☆「さくら さくら」の音階で  せんりつづくり |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ◎ |  | ◎ |  | ◎ |  |  |
|  |  | ８ | 9.  思いを音楽で表そう | | (1)曲想及びその変化と、旋律などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能や、互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。  (2)速度、旋律、強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。  (3)曲想を感じ取ることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、鑑賞の学習活動に取り組み、曲に対する思いや曲のよさなどを、友達と共有する態度を育てる。 | ・曲の気分を生かして歌いましょう。 | ○赤いやねの家 | ◎ | ◎ | ○ | ◎ | ○ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 音色  速度  **旋律**  強弱  拍  反復  音楽の縦と横との関係 | クレシェンド  デクレシェンド |
|  |  | ・曲の気分を感じ取って合奏しましょう。 | ◇鉄わんアトム |  |  |  |  |  | ◎ | ◎ | ○ | ○ | ○ | ◎ |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ３ | ３ | ・音楽が表している様子を思いうかべながら  ききましょう。 | **♪**山の魔王の宮殿にて |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ◎ | ◎ |
|  |  | **♪**朝の気分（参考曲） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ○ | ○ |
| 年間 | | − | 巻末 | 歌いつごう 日本の歌 | | 世代を超えて歌い継いでいきたい日本の歌。 | みかんの花さくおか／せいくらべ／  みどりのそよ風 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 全般 |  |
| みんなで楽しく | | 各校の実態に応じて、  弾力的に扱うことのできる教材。 | ごんぎつね  いつだって！  林の朝  世界を旅する音楽室  花束をあなたに  チャレンジ！  Sing a rainbow  雨の公園  ハッピー バースデイ トゥ ユー  スーパーカリフラジリスティック  　　　　　　　エクスピアリドーシャス | ○  ○  ○  ○  ○  ○  ○ | ○  ○  ○  ○  ○  ○  ○ | ○  ○  ○  ○  ○  ○  ○ | ○  ○  ○  ○  ○  ○  ○ | ○  ○  ○  ○  ○  ○  ○ | ○  ○  ○  ○ | ○  ○  ○  ○ | ○  ○  ○  ○ | ○  ○  ○  ○ | ○  ○  ○  ○ | ○  ○  ○  ○ |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ※国歌「君が代」の指導については、各校の実態に応じて学習内容や扱い時数をご設定ください。 | | | | | | | 国歌「君が代」 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | |